

# 月刊「ワークホームだより」4月号

発行:2024年 3月 25日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



## 次なる挑戦！

ワークホーム高砂施設長 齋藤 克己

令和6年度を迎えます。3月6日の理事会で承認を得た「令和6年度事業計画」の基本的な考え方については次のとおりです。改めて確認しておきましょう。

本年度は、報酬改定に伴う経営状況を見定めるとともに、令和7年度を目途に新規開設を予定する就労移行支援事業の「準備年」として位置付ける。

生産活動分野については、(株)ゴトウ・アズ・プランニング(「GOTO」)との協業を継続し、就労継続支援B型事業の利用者については、平均工賃4万5千円を維持する。また、生活介護事業の利用者については、生産活動に加え余暇活動にも取り組み最低6時間以上のサービス提供時間を確保する。また、利用者に負担感のない適切な生産量や委託料の値上げなど、運営課題についてGOTOとの協議を継続する。

就労支援分野については、これまで就労継続支援B型事業の利用者を企業就労やA型事業所、就労移行支援事業所へ送り出してきた実績を踏まえ、令和7年度を目途に就労移行支援事業が開始できるよう開設に向けた検討とその準備に入る。

施設長の交代を踏まえ新体制への移行を混乱なく進めながら、新たな利用者を獲得するための事業所説明会を開催するなど、関係者へのPRを積極的に行う。

以上のように、令和6年度は報酬改定の影響を評価しながら令和7年度に開始する「就労移行支援事業」の準備年として位置付けています。新事業は、多機能型で定員6名を予定しています。新事業を利用してもらえるかどうかは、社会就労が可能となる有意義で魅力あるプログラムを利用者さんに提供し実際に就労に結び付けられるか、そして、どれだけ丁寧にフォローできるかが重要なポイントです。実績の積み上げが企業や学校、保護者さんたちからの信頼につながります。多くの社会福祉法人が就労移行支援事業から撤退する中での事業開始となります。大変ハードルの高い挑戦となりますが、このことを自覚してチーム一丸となって準備を進める予定です。どうか、関係各位のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

私は、11年間務めたワークホーム高砂の施設長を3月末で退任します。利用者さん、保護者さん、そして職員達、多くの関係者の方々に大変お世話になり支えていただきました。心から感謝申し上げます。令和6年度からは、「社会福祉法人あかりの家経営計画」の進行管理など理事としての職務に専念することとしておりますので、変わらぬご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 4月の予定

4月10日(水) 工賃支給日

4月27日(土) 保護者会役員会

※4月15(月)~4月19(金)にスイートコーンの

植え付けを行なう予定です。

※工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行います。お迎えの方は17時にお願ひします。

## 避難訓練を実施しました



2/26(月)に避難訓練を行ないました。今回は利用者さんやパートさんには伝えず、抜き打ちで行ないました。抜き打ちということもあり、音が鳴ると少し驚いている人や「また誤報か」と思い、黙々と作業している人もいました。職員が避難ルートへ誘導し避難してもらいました。避難ルートもいつもとは違うルートで避難をしたため、いつもより遅いタイムとなりました。タイムは2分13秒でした。今回の抜き打ちでの訓練は、職員・パートさん・利用者さんにとって良い訓練になったと思います。(花岡)



今月の担当は、長瀬圭佑でした。



# 3年ぶりの開催♪ 1年を振り返る会・実践報告会

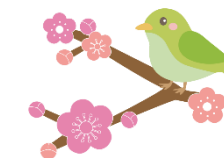
～ワークホーム高砂・納豆工房なっところちゃん・保護者会合同開催～

3月23日、ユーアイ帆っとセンターにおいて「1年を振り返る会」をワークホーム高砂と納豆工房なっところちゃん、保護者会の三者共催で行いました。参加者は78名で、沢山のご参加をいただき、本当にありがとうございました。

9時30分から始まった「振り返る会」は、中村保護者会長、長谷川施設長の開会あいさつに始まり、1年を振り返るDVDの鑑賞や支援員による実践事例の発表などを行いました。また、保護者の方々の振り返りでは、参加されたお母さんたちのお話を直接お聞きすることができ、利用者さん、保護者さんを交えた充実した時間を過ごすことができました。閉会では、本年度で退任される齋藤園長の振り返りや退任のご挨拶もあり、ワークホーム高砂の歴史を振り返ることもできました。今年度の反省を来年度に活かし、今後もより良い事業所作りができるよう保護者さんの力もお借りしながら、明るい未来に進んでいきたいと思っております。（吉中）



## 事業所説明会を開催



2月23日、3月5日の両日、ワークホーム高砂と納豆工房なっところちゃんの事業所説明会を開催し、延べ40名の保護者さんと当事者さんが参加してくださいました。今回の事業所説明会では、ワークホーム高砂が今後目指そうとする障害を有する全ての方への「働く」をサポートする事業展開について説明させていただきました。参加者の多くは、特別支援学校中等部の方で、若いうちから将来のことを考えておられるようでした。

これからもこうした説明会をとおして、ワークホーム高砂の事業を知ってもらうとともに、障害を有する方のニーズを把握し、今後の事業展開に繋げていきたいと考えています。（楠）

## キラキラ就活生見学会

3月7日と13日、「社会福祉法人あかりの家職員採用見学会」があり、大学3年生の学生さん5名がワークホーム高砂を見学されました。大学で福祉や保育を学んでおられる学生さんが多くいたこともあり、作業場で落ち着いて淡々と仕事をされる利用者さんに驚きつつ興味を持って見学されていました。学生さんの中には、卒業論文のテーマが「B型の工賃について」という方もおられ頼もしく思いました。

私は、作業場で仕事の内容や利用者さんの特性などについて説明させていただきましたが、学生さんの熱心な質問に応えながら、改めてワークホームで働くことの難しさや面白さを考えさせられました。今回見学された学生さんが採用試験に来てくださり、一緒に働けたら嬉しいなと思っています。（重田）



## 農福連携を中心とした工賃向上研修に参加

3月13日、兵庫県セルフセンター主催の工賃向上研修会が姫路じばさんビルで開催され参加しました。工賃アップのヒントやアイデアを学ぶという趣旨で、滋賀県の農福連携の実践事例や県内の福祉サービス事業所における農家との地域連携を軸とした事業展開など、農福連携事業を中心とした工賃向上について学びました。ワークホームにおいても本年度は田植えや稲刈りの行事を開催し、次年度はスイートコーンの植え付けなど地域の農家さんと一緒にできる行事を企画しています。まだまだ小さな試みですが、これからも地域とのつながりを大切にしながら、少しでも利用者さんの工賃が上がるよう職員一同努力していきたいと思っております！（重田）

